

静岡型小中一貫教育の視点
 視点1 学校の教育目標を共有している
 視点2 9年間の連続性、系統性を強化した教育課程を編成し、実施している
 視点3 協働・交流のある教育をする
 視点4 地域と連携する教育をする

学校教育目標
自ら学び、共に高め合う児童生徒
 【視点1】

I 基礎・基本期		II 自主・協働期		III 充実・接続期		IV 自律・躍進期			
年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3

学 習 確かな学力のもと、主体的にかかわり、問題解決を図ることができる児童生徒

【子どもたちが、**かかわりたくなる学習課題・学習問題**の設定】**【視点2】**
 ・教師が子どもの疑問や興味を引き出し、本時の目標が実現する具体的な**学習課題**を設定することで、自分や友達の目的（思いや問い）を共有する児童の育成につながる。
 ・学習課題から生まれる**子どもの疑問や追究してみたい事柄**から、本時の目標に迫るものに教師が**焦点化して学習問題**を設定することで、自分や友達の目的（思いや問い）を共有する児童の育成を目指す。
 ・自分事にする**導入課題**の工夫をすることで、自分や友達の目的（思いや問い）を共有しやすくする。（単元の初めに、子どもから出た問いを吟味・精選し、課題の共有を図る）（自分の経験と結びつける導入課題） など
【グループ校共通の手立て・学習ルール】 ※子どもたちへの学習支援 **【視点2・3】**
 ・学習課題、学習問題、自分の考え、考えの変容、まとめや振り返りを色や囲みによってわかりやすく表現する。
学習課題=白 **学習問題**=赤 **まとめ**=青
 ・主体的に学習に取り組むために「話す・聞く・書く」の指標を活用した「話す・聞く・書く」の力の育成（H30年作成）
【各学年の学習内容の定着を目指した取り組み】
 ・学習姿勢をつくるための家庭学習の充実
 家庭学習の手引きを利用した家庭学習への指導
 自主学習の実施（4年生の後期から）
 ・定着を図るための定期的な小テストの実施
【交流研修のもち方について】**【視点3】**
 ・授業を通して子どもたちの良い表れや目指す子どもの姿の共有、その姿が表れるためにどのような取り組みをしているのか良い手立ての共有を図る時間とする。

軸となる取組



輝く自分づくり

かかわりを大切にしたい取組

自己肯定感や自己有用感を高める取組

特 別 支 援 自分なりの目標をもち、がんばることができる児童生徒

【基礎的環境整備】誰にとっても居心地のよい学級づくり・学習環境 **【視点2・3】**
 【合理的配慮】通常学級←特別支援学級 交流・共同・体験

英 語 英語好きな児童生徒

・GETやALT、独自教材である「しずおかグローバルタイム」を活用した**体験的な授業**
 ・English Dayの活動内容共有、English Caféの充実、ICTの活用 **【視点2・3】**
 ・小・中教員で、教科書内容の共通理解

総 合 地域を誇り、愛し、自ら社会に参画しようとする児童生徒 ～輝くはとり人～

しずおか学構想 **【視点2・4】**
 【中学校区共通の内容】 ・お茶 ・自然環境
 「歴史・文化」 ・福祉 ・地域学 **地域人材を取り入れた授業**

特 活 自分で考え、自分たちでやってみようと行動できる児童生徒

【自分で意志決定し、実践する力の育成】 **【視点2・3】**
 （例）自分なりに工夫し実践する場・係・委員会活動
 専門委員会活動

【学校や地域社会をよりよくする態度の育成】
 （例）服織中学区の自慢づくり
 （例）輝き見つけ

【集団の中において自発的、自発的に取り組む力の育成】
 （例）自分たちから発信する活動の場
 運動会・ボランティア活動

※生徒会が中心となって考えた服織中学校区のイメージキャラクター「わこちゃん」

グループ校ならではの実践活動
 ○ 中学校区の自慢とするあいさつを磨き高める
 ・小中学校間で練り上げる、「活動計画」
 ・グループ校掲示板を活用した情報共有
 ○ パーソナルポートフォリオの活用
 ・自己決定力や判断力 ・相互理解
 ・自己有用感 ・自己肯定感
 ○ リーダーの育成とフォロワー醸成

道 徳 他者と認め合い、自分で判断し行動する児童生徒

【大切にしたい視点】 ・判断力、実践力 ・規範意識 ・向上心、根気強さ ・思いやり、生命尊重
 【重点内容項目】「善悪の判断、自主**自律**、自由と責任」「個性の伸長・向上心」「相互理解・寛容」
 【努力内容項目】「生命の尊さ」「伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度」
 ・**内容項目の重点化**
 ・**道徳コーナーの活用**
 ・**地域教材を活用した児童生徒の課題意識を高める授業実践** **【視点2・3】**

生 徒 指 導 自己肯定感や自己有用感を持つことができる児童生徒

・伝えたいことを自分の言葉で表現する（存在感）・自分の輝きを大切にしたり、よさを磨き、新たな事に挑戦したりする（発達の可能性）・友達のよさを態度や言葉で表現する
 ・言われなくても、自分たちで考え行動する（自己決定）・地域に進んでかかわる・中学校区の自慢とする活動を磨き高める ・活躍の場、認める場の設定
 ・服織中学校区いじめ防止基本方針・健全育成会と連携した情報モラル教室の開催・**キャリアパスポートにより目標を定め、成長を実感し、自己肯定感を高めていく。** **【視点2・3】**
 <学校保健> **【中学校区共通の学校保健目標】** 自己の健康管理ができる児童生徒
 自分の体を知る ・4校共通「成長の記録」 ・健康教育構想図の作成
 ・生活習慣の確立（睡眠） 「メディアについて考える日」

地域との連携

【視点4】 **地域への広報活動**
地域に開かれた学校
 ○地域の方を講師に迎えた特別授業
 ○学校応援団活動の充実
 ○服織中学校区小中美術展（薬科生涯学習センター）
地域への協働参画
 ○地域防災訓練や美化活動への小中学生の参加
 ○地域の乳幼児と交流する保育実習

幼・保・子ども園連絡協議会
 スタートカリキュラム・行事の合同開催や交流、ボランティア活動

4校（服織中・服織小・服織西小・南藁科小）の共通の児童生徒の実態
【よさ】 ・明るく、素直で優しい
 ・行事に向けてよく頑張る
 ・挨拶ができる
 ・学習面では、作業的、体験的な活動を好む
 ・与えられた課題や仕事に真面目に粘り強く取り組む
【課題】 ・基礎学力の定着に個人差が大きい
 ・学び方や学習習慣が身につけていない子どもが多い
 ・かかわり合って学ぼうとする意識が低い
 ・読書、新聞を読む習慣が少ない
 ・身辺整理や計画的な行動など、自己管理能力が弱い
 ・自己肯定感や自己有用感が低い

協働・交流

児童・生徒の交流 **【視点3】**
 ○中学生による運動会ボランティア
 ○新中1生体験授業
児童の交流
 ○3校合同「芸術鑑賞教室」
 ○3校合同の6年生「心の劇場」鑑賞
 ○合同社会科見学
教職員の協働
 ○小中一貫教育全体会
 ○合同研修会
 ○公開授業週間の設定
一人職教職員の交流
 ○養護教諭の情報交換
 ○事務職員の情報交換
 ○学校司書の情報交換